



第23号 平成13年(2001)12月25日発行
発行所 東京旭川会 〒104-0061
東京都中央区銀座3-9-4
文成ビル3F
竹原法律事務所内
TEL・FAX03-3546-7339
東京旭川会広報委員会
編集

厳しいスタートのなか、 竹原新会長決まる。

第25回目の「東京旭川会 総会・懇親会」が、10月18日新宿・京王プラザホテルで開催された。参加人数は会員が93名、来賓が20名。天候に恵まれなかったとはいえ、近年まれにみる最少参加人数となった。

朝からなみだ雨が降っていた。八木祐四郎会長が9月に急逝して一カ月余り、第25回総会・親睦会には、会長席が空白のまま幕を開けた。

午後6時30分、尾崎靖亮幹事の司会のもと、総会は始まった。通例であれば、会長が議長を兼任するが、原公朗副会長が代行として議長を務め、議案審議に入った。

桑本平八事務局長から『平成12年度事業報告並びに決算報告』がなされ、会員が減少気味であること、郷土訪問の旅も参加者が少なく中止になったことなどが、手短かに報告された。

決算に伴う監査報告が植木宏昌、花輪元治両監事からなされ、適正に処理されている旨の報告があった。次いで『平成13年度事業計画並びに予算案』の審議に入った。この中で、桑本事務局長は会の運営費の問題に触れ、現時点では会費の納入率が極めて低いこと、希望としては70%以上の確保が必要であることを力説した。

場一致で了承された。竹原新会長は、平岡敏男前々会長、八木祐四郎前会長の後を継ぎ第三代目の会長となる。新会長は八木前会長の4年後輩にあたる。満場の拍手で壇上に迎えられた新会長は「私は決して会長の器ではありませんが、旭川を愛する気持ちだけは負けないつもりです。皆さんのご協力を得ながら、任期中は一生懸命務めてまいります」と決意を述べた。

役員、幹事の選任は新会長に委ねられ、午後6時50分総会は幕を閉じた。



菅原功一旭川市長

「おぼんてございます」の挨拶とともに来賓が入場し、着席した。セレモニーを始めるに当り、全員が起立して八木前会長の冥福を祈り、黙とうを捧げた。会場の灯が一斉に消され、静寂のひとときが流れた。

宴は新会長の挨拶から始まった。「今年の総会・懇親会は25回目になり、人間でいえば銀婚式を迎えることとなります。これを機に会員をもっと増やし、旭川の発展のために少しでもお力になればと思います。」

旭川に赴任した地方裁判所の裁判官も、よい街なので一年任期を延期したと話していた。旭川の弁護士仲間からも、どうして帰らないのかと、よくいわれます。このようによい街に発展してきたのも、旭川市長をはじめ市の皆さんのご尽力の賜物と思っております」と、経験談を交えながら、旭川への想いを語った。

次いで、菅原功一旭川市長は、「前会長には旭川のためにご尽力いただき、残念で残念でなりません。市にとっても大きな損失です。全世界がテロや不況で大変な時期を迎えています。地方も大変ですが、こんな時こそ原点に帰って旭川は旭川らしい特長と個性の持ち味を生かすことが大切と考えています。家具や農産物、自然を生かした観光産業はもとより、世界で活躍する人たちが大勢出てきています。これからは新会長をはじめ皆さんのお力も借りながら、よい街づくりをしてまいりましょう」と、前会長への哀惜の念と今後の旭川に対する抱負を熱く語った。

会場には湯気のアゲアゲが、ジャガイモやカボチャ、トウキビなどが運び込まれ、ビールや地酒、ワインなどが次々とグラスに注がれた。乾杯の音頭をとったのは、6月に就任したばかりの藤田良一旭川市議会議長である。

「皆さまに初めてお目にかかります。東京旭川会も四半世紀を迎え、歴史的な重みを増す年となります。竹原新会長を中心としますよう祈念して、乾杯。」

それぞれ、それぞれ、団らん、輪が広がり、グラスを傾けながらの情報交換が始まる。中央のテーブルの大皿に盛られたご馳走の山に人が集まる。トウキビをかじりながら、「甘いなあ。やっぱり故郷の味は違うなあ」と語りあう人、「ラーメンはまだできないの？」と訪ねる人、会場は次第に活気を呈してきた。

会場内にはウニや塩辛、昆布、

地酒やビール、ウィスキーが飲み放題



鮭など、海産物を販売するコーナーも設けられ、北海道の味を求める人たちが群がった。

最も盛り上がりを見せたのは、抽選会が開かれた頃である。協賛各社から提供された賞品がうずたかく積み上げられ、当選者が出るたびに歓声があがった。
司会の安井規雄幹事も当選漏れがないように声をからして番号を読み上げた。



歓声があがる抽選会

終盤、観光大使である佐藤安弘さんが壇上に立ち、苦言を呈した。「これから旭川会がどういう魅力を出せばいいのか考える時期にきている。今のままでは会場に来てみたいという魅力がゼロである。会場にニシン漬けや石狩鍋などが置いていないのも寂しい。もっと故郷の色を出すべきではないのか」こうした率直な発言は、これからの会の運営を見直す上で大きな力となるであろう。

総会・懇親会参加者

(敬称略・順不同)

ご来賓

旭川市関係

市長・菅原功一、同夫人・美貴子
市議会議長・藤田良一、同事務局
庶務課長・森下元、商工会議所専
務理事・柳谷宏、(社)旭川観光協会
会長・稲村健蔵、助役・和嶋昌幸
企画部長・小池語朗、商工部長・
重野健一、商工部産業振興課長・
池田定博、企画部秘書課長補佐・
小野田実、同秘書係・白木義宏
在京関係

北海道新聞社東京支社長・村川亘
サッポロビール(株)営業推進部専任
部長・手島孝雄、(社)北海道倶楽部
調査役・布施俊幸、北海道ふるさと
と会連合会副会長・角谷裕輔、(株)
JASカストマーサービス常務取
締役販売促進本部長・岡本善太、
同組織団体販売グループ部長・吉
備正司、(株)旭ダンケ環境建材事業
部営業部長・熊野勝文

国会議員

衆議院議員・佐々木秀典
祝電

関西旭川会会長・豊澤敬一郎、参
議院議員・小川勝也、衆議院議員・
金田英行

会員

浅黄谷剛寛、浅野義亮、伊集院實
伊塚清、今村謙一、伊藤尚子、植
木宏昌、内田卓男、浦木康介、海
老澤美智子、大屋道夫、尾崎靖亮
大島英一、岡部公司、大玉勝政、
織田典子、岩垂由紀子、加藤辰雄
加藤桂子、河村尚之、神部泰、桑
本平八、小柳武二、川口曉夫、加
藤文哉、喜多美佐子、北村武宏、
佐藤勝美、佐藤安弘、茂川トヨ、
白倉伸也、矢戸久之、島田嘉明、
島田ミエ子、須藤智恵子、佐藤哲
朗、須永恵美子、高尾栄二、武田
陽子、竹原茂雄、高橋英治、高橋
文子、高橋正夫、高橋照美、高島



ご協賛・ご協力

- ◆旭川市長
- ◆旭川市議会議長
- ◆旭川商工会議所
- ◆(社)旭川観光協会
- ◆(財)道北地域地場産業振興センター
- ◆旭川グランドホテル
- ◆旭川パレスホテル
- ◆ホテルクレセント旭川
- ◆全日本空輸(株)東京支店
- ◆(株)日本エアースシステム東京支店
- ◆男山(株)
- ◆サッポロビール(株)
- ◆ニッカウヰスキー(株)
- ◆藤原製麺(株)
- ◆(株)セーキ
- ◆佐賀商店
- ◆薬日本堂(株)
- ◆(有)本間不動産
- ◆(株)旭ダンケ東京営業所
- ◆今野醸造(株)
- ◆(株)大心堂雷おこし

政雄 田村正士、田村稔子、直原
綾子、田中幹夫、田中国夫、田原
勝司、土井磨智子、寺田英子、寺
田克彦、中村泰敏、並木治子、中
島信、西田育子、西木戸孝夫、野
作雅章、原公朗、花輪音三、花輪
元治、林秀一、長谷川満、引地康
博、古島誠一、藤井章司、福原博

子、本間敏弘、本郷文子、本田真
知子、堀川和延、廣野貴之、松田
勇三、松島薫、松原愛、牧田紀子、
南栄二、三輪篤司、御手洗正夫、
宮森信之、村本敏昭、森陽一、森
由美子、溝口礼子、村石曜一、安
井規雄、山本正純、横峯昇、吉田
友之、吉崎与一、山川智

事務局日誌(平成12年9月～平成13年8月)
平成12年★9月7日・第1回総会企画委員
会★同日・総会案内状発送★9月21日・会
計監査、第1回幹事会★10月6日・北海道
ふるさと会連合会トップフォーラムに原副
会長出席★10月12日・総会準備役員会★10
月19日・第24回総会・懇親会★11月10日・
第1回広報委員会★12月22日・『ななかま
ど』発行

平成13年★1月20日・北海道ふるさと会連
合会新年交礼会★1月30日・第2回幹事会
★3月29日・第1回親睦委員会★4月21
日・北海道ふるさと会連合会総会★5月29
日・第2回総会企画委員会★6月7日・親
睦ゴルフ大会★6月21日・第3回総会企画
委員会★7月17日・第3回幹事会★8月18
日・在京同窓会代表者の集い

旭川にとっても大いなる損失

旭川市長 菅原 功一

東京旭川会の皆様には、日頃から郷土・旭川発展のために格別の御支援と御協力を賜り、心からお礼申し上げます。

去る10月18日の総会・懇親会では、温かいおもてなしや市政についての貴重な御助言などを

いただき、ありがとうございました。

25周年の節目を迎えるこの総会を目前にして、あれほどお元気で、いつも旭川を応援してくださった八木さんが亡くなられました。

旭川国際バーサースキー大会の生みの親であり、スノーボードのワールドカップ旭川大会開催など、本市の冬季スポーツの振興に多大な御尽力をいただいていただけに

旭川を良いまちにしたい、発展させたい、いつも気に掛けてくださった八木さんに、心から感謝と哀悼の意を表します。

今、本市を取り巻く環境は極めて厳しい状況にありますが、逆境をはね返し、大胆に発想し行動しながら、これを乗り越えていかなければなりません。

私はそのために、そして旭川のために、いかなる困難も厭うことなく、全力を傾注することをお誓いいたします。

終りになりましたが、皆様には今後とも特段の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、竹原会長のもと、東京旭川会のみならずの御発展と会員各位の御健康、御活躍を心からお祈り申し上げます。

大黒柱が抜けた不安と寂しさ

副会長 原 公朗

八木会長の訃報を知らせるNHK朝のテレビニュースを見て愕然としたのは、日本アマチュアスポーツ関係者のみでなく、八木会長を知るすべての方々の驚きであり、悲しみでした。

身近に接していた東京旭川会のメンバーは、大きな大黒柱が突然抜けてしまった不安と寂しさを感じ、その喪失感は計り知れないものがあります。

八木前会長を偲んで



突然の訃報は誠に残念でなりません。

八木さんは、何事にも確固たる目標を持って実行する信念の人であり、一方で周りの人にとっても気配りする人でもありました。

葬儀に参列させていただきましたが、各界で活躍されている大勢の方々が別れを惜しんでお

り、改めて八木さんの人柄と活動範囲の広さを知らされました。

長野、シドニーオリンピックでは、日本選手団団長という大役を果たされ、平成11年4月からは財日本オリンピック委員会会長に就任されました。

本市はもとより、日本のスポーツ発展のために、もっと活躍をしていたら良かった……。

のがあります。

東京旭川会の創設以来、25年に渉り事務局を引き受けられ、更に昭和61年からは、会長の重責を担われ、会の発展に尽力されましたことは、会員一同深く感謝の意を表する次第です。

人に接するに常に自然であり、いかにもスポーツマンらしい風貌のなかに実業界での成功者に相応しい風格を備えたお姿は、会員の自慢でもあり誇りでもありました。

生来のカリスマ性とリーダーとしての資質は、どの場面でも遺憾なく発揮されていたのではないのでしょうか。ガキ大将郵便局のよう

ちゃん時代から、名選手を育て上げたオリンピックでの成功。実業にあっては、常に業界のオピニオンリーダーとして注目を集め、自社をトップ企業に成長させたその手腕と業績は、まさに他の追随を許さないものでありました。

『低く座し 高く考える』ご自身の座右の銘を実践し、ベストを尽くして駆け抜けた悔いの無い豊かな人生であつたに違いありません。ご冥福をお祈り致します。

一瞬、頭の中が真っ白に

前事務局長 桑本 平八

9月9日夜11時頃、枕元の電話の呼出音で目を覚ました。また何

時もの酔っ払いの間違った電話と思ひながら受話器を取る。

「桑本さん、八木会長が逝くなりました」

耳を疑い聞き直したが返事は同じ「八木会長が大阪のホテルで逝くなりました」

一瞬、頭の中が真っ白というか愕然となり「判った」と言うのが精一杯であった。

八木会長とは中学、大学の同窓であり、また冬のスポーツであるバイアスロン競技の先輩で、これらが縁で今日まで30年、元気のあひだは居てもらうと言われ、東京旭川会の発足以来、事務局の仕事を受けて下さった。ご承知の通り会長は、全国ビルメンテナン協会会長、全日本スキー連盟副会長兼専務理事、日本オリンピック委員会専務理事、同会長と要職につかれ、この間夏のオリンピック日本代表選手団団長として輝かしい成績を挙げられるなど、日々寸暇を惜しんでのご活躍は驚きというか全く敬服の一言でありました。

また、頼まれると嫌といえない人情味溢れる人柄でありました。従四位勲二等瑞宝章は、会長のご生前の功績を如実に物語るものであります。心からのご冥福をお祈り申し上げます。

人味溢れる人柄でありました。従四位勲二等瑞宝章は、会長のご生前の功績を如実に物語るものであります。心からのご冥福をお祈り申し上げます。

もらい、実質40名位の幹事で準備しています。

名簿は4年に1度位見直してはいますが、同窓会でも、やはり若い人を中心に増やすかがテーマです。

東京旭川会には、数年前に旭川東京事務所から比較的若手の幹事推薦を頼まれ、数名出させてもらっています。高校の幹事会においても東京旭川会のことはPRしてもらっていますが、現実にはなかなか参加まで結びつきません。若い人にも、もっと魅力のある形になれば参加者が増えるのではないのでしょうか。

高島…商業高校の場合は、東京在住が650名位。高齢化のなかでいかに人を集めるかが課題です。

昨年、東京同窓会50周年記念を帝国ホテルで開催した220名が集まりました。例年は100名前後です。原因

高島政雄氏



究明をしたところ、40代・50代が一番多く、その人たちが来やすい曜日、時間帯、場所を考え、帝国ホテルでやったところ大成功したのです。

4年前に副支部長を預かった時、組織そのものを若い人たちに任せなければ、会そのものが活性化していないのではないかと感じました。

東京旭川会もここに集まっている高校だけでなく、その他の高校の力と若い人たちの力をどう引き出すかが一番重要なことだと思います。

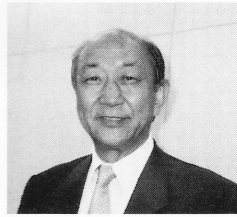
懇親会を開いていますが、出席は60〜80名位です。1600名に案内を出して、不明で戻ってくるのが200名位あります。

「大雪山」という会報で会を開く前にPRしていますが、なかなか参加者は増えません。東京旭川会への参加意識は薄く、総会のある度にPRしますが、すぐに増えないのが現状です。

多くの人に集まってもらいたい。原…さて、いままでの皆さんの話の中でポイントは一つあったと思います。(1)会の趣旨をはっきりさせておくこと。

(2)組織化の見直しが必要であること。具体策として、総

横峯 昇氏



会開催の参加意識を高めるために、高校別などの当番制にしてはどうかという意見があったと思います。他にご意見があれば、お願いいたします。

高尾…旭川にゆかりのある会社、経済界、旭川の大学等も糾合して進めていってはどうでしょうか。

白倉…こたわる訳ではありませんが、コアとなる人たちが集まる会も一方ではやっておいてはどうでしょうか。人数はあまり多くなくても良いから、その代わり会費を高くする方法もあると思います。

横峯…私はここ2〜3年出ていないのでわかりませんが、その前に出た時は「観光大使」の方の出席が多くてビックリしました。観光大使の方は旭川に功績のあった方になるので

すから、よく考えると意味はわかるのですが、もっと幅広く一般の旭川出身者を集めて、特別の人たちの集まりではないという雰囲気を出した方がよいのではないのでしょうか。

白倉…市長さん、市議会議員さんその他に、随行の方が以前より多くなったような感じを受けるのですが……。

横峯…集まる絶対数が少ないから多く感じるのではないのでしょうか。

昔は全体の出席者数がかなり多かったから、目立たなかったのではありませんか。結局、集まる絶対数を多くしなければいけないと思います。先程の高校だけではなく、もっと選択肢を広げるという意見も良いと思います。

西高の同窓会の場合も、10数年前には会費の問題、出席者数の問題で迷った時もありました。なかには特殊な同窓生だけでいいじゃないか、あえて無理して皆に集まってもらう必要がないじゃないかという時期もありました。

でも結局、卒業生は平等だということ、若い層の末端まで広げて、結果的には組織が出来上がったのが良かったと思っています。そのまま特殊な人ばかりが集まっていたら、だんだん消滅していったと思います。これはあくまで我々の同窓会の例をとっての事です……。

八木…いろいろ貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。それをもとに何とか集約させていたでいて、少しでも氣勢をあげようというのが会議のそもそもの趣旨です。

今後は、各高校の同窓会の方々に広報していただき、たくさんの方々に参加していただけるようご協力いただければと思います。

北海道方言辞典 その③ 釣バカの戯言

旭川市東京事務所所長

文～浅野義亮

イラスト～中村泰敏



―釣友と電話にて―

A「今度の〇日に旭川にもどるから、一緒にヤマベ釣りに行くべや」

B「いいな、今年はヤマベはなんぼでも釣れてるし、それよつかアキアジも釣れてるぞ」

A「カンカイはまだ早いかい」

B「まだ海水がぬくいし、もっとしゃつこくならないとだめだ」

つちやくからがんばってきたよ。ほら、まだぶす色になってるよ。通勤も、すんごいらッシュで毎日わやだわ。あッきた。竿が折れそうになってるわ」

B「バラスなよ。けっぱれ。てつくり返らないようにそのままバイキバイキ」

A「ウワァー、なまらでつかいメンタだ、めんこい顔してるぞ」

B「あッ！俺にも来たぞ。なんだホッチャレみたいなオンタだ。お前のとばくつてくれや」

A「なしてさ。釣れただけいいべさ。ぜいたくこかないの」

……この日は大漁でした。――帰りの地下鉄にて――茶髪ネーチャンの会話

C子「ネーネー、今日の〇君チョーカッコいかったじゃん」

D子「ツウーカ、△君の方がメッチャイケてるじゃん。てユーカイケメン？」
ンッ！これも北海道弁かな？

A「そんなら、アキアジ釣ってからヤマベもやるべや。したらな」

―釣友と浜辺にて―
B「竿も出したし、あとは酒を飲みながらゆっくりおっちゃんとして待つべや。ところで、内地の生活は大変だべさ」

A「今年は特に暑くてさ、身体中に汗がでてきて、やたらか

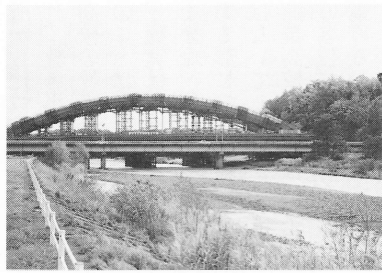
いま、旭川では…

都

『北彩都あさひかわ』(旭川駅周辺開発事業)整備事業が順調に進んでおり、旭川市の障害者福祉センター(仮称)、新神楽橋が姿を現し、また国の合同庁舎が着工になった。

この事業では、建物・道路・橋の建設や土地区画整理、鉄道高架忠別川河川空間整備などが行われており、総事業費約1140億円で、土地区画整理などの基盤整備の完成は、平成26年度を目指して事業を進めている。

特に国の合同庁舎は、世界的な建築家である黒川紀章氏の設計事務所が担当しており、市民も楽しみにしている。



建設中の新神楽橋

空

今年11月、韓国人ツアー客ら1110人を乗せた韓国・アジアナ航空の国際チャーター便が旭川空港へ到着した。韓国チャーター便の同空港への

乗り入れは初めてで、ツアー客は三泊四日で市内のほか層雲峡・美瑛・富良野などを周遊した。

同空港への初の外国人客受入れとなった台湾・中華航空の国際チャーター便が今年1月から既に10便、来年1〜2月に更に3便が予定されており、国際定期便化への弾みと期待されている。



灯

旭川の風物詩となったイルミネーションが今年も12月〜2月までの間(及び3月下旬)点灯され、旭川の夜の街を明るく彩り、行き交う市民を和ませ温めている。

●イルミネーション駅彩灯(JR旭川駅前)

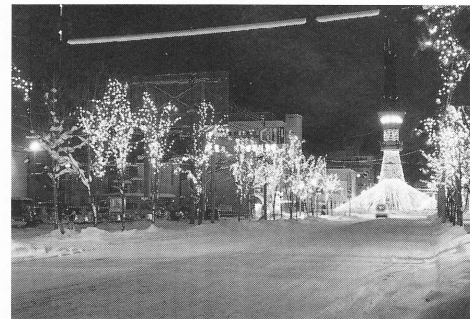
●ナナカマドイルミネーション(緑橋通)

●フレンドリーイルミネーション(平和通買物公園)

●ウェルカムイルミネーション(昭和通)

●ロータリーイルミネーション(ロータリー中心部)

●旭橋通イルミネーション(旭橋・ロータリー)



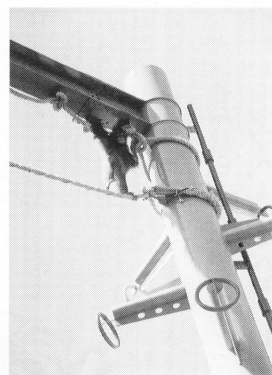
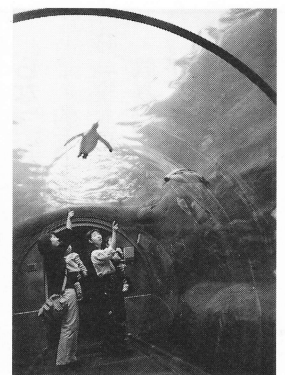
動

日本最北の動物園として親しまれている旭山動物園の入場者数が今年度、すでに55万人を超え(50万人超えは15年ぶり)人気が高まっている。

開園30周年(平成9年)を契機に始めた再整備事業による「もうじゅう館」「さる山」の新設、特にペンギンが泳ぐ姿を水中トンネルから観察できる「ペンギン館」、オランウータンがロープを伝って空中散歩する姿が真下から観られる「オランウータン舎」が人気となり、地元客のほか若者や札幌・本州からの観光客が増え入場者数の増につながった。

今後も、ホッキョクグマの生態をさまざまな角度から観察できる施設など、魅力ある施設の設置が

予定されている。



魅

旭川の魅力を「探る」「創る」「伝える」をキーワードに、旭川市では『イメージアップ・キャンペーン』を行っている。

キャンペーンは「キャッチフレーズ」「旭川物語」「市民まちづくり大賞」の募集で、「キャッチフレーズ」では広く市民以外を含めて約1000点を超える応募があり、市民投票の結果、あ、雪の匂い」に決定した。

今後、このフレーズにロゴデザインをつける公開コンペが行われ、来年2月中旬にロゴつきのキャッチフレーズが完成する。

「旭川物語」「市民まちづくり大賞」は、既にそれぞれ10月、11月に決定・発表されている。

産

味噌や野菜ジュース、稲わら細工など様々な農産加工品を生産する農業者で組織する「旭川市農産加工推進協議会」が、地場消費に加え首都圏や本州方面にも販路を拡げるためのPRパンフレット「農家ブランドの加工品」を発行している。

パンフレットには、製品と生産者の顔の写真入りで、自分たちの手で大切に育てた農産物から安全で美味しく楽しい個性的な手作り加工品をPRしている。

注文は生産者へ直接となっているが、パンフレットについては旭川市農政部農業振興課(電話)093-74330に問い合わせるか、旭川市東京事務所(電話)03-3265-7650にも置いてある。



旭川の魅力を「探る」「創る」「伝える」。

キャッチフレーズ募集

旭川に誇れるもの募集

市民まちづくり大賞の募集

“全国区”で活躍中の 郷土出身者

ネットでデビューの「電腦歌人」

加藤 千恵 さん



「ついでにい
い びつくり
するほどつい
ていない ほ
んとにあるの
あしたにあし
た？」

インターネット上で歌を発表し続
けていた現役女子高生の初の短歌集
「ハッピーアイスクリーム」(マープ
ルトロン発行/中央公論新社発売)
が、このほど全国出版され大きな反
響を呼んでいる。旭川市住吉町在住
の旭川北高3年生、加藤千恵さん
(17)がその人。中学時代に短歌のと
りこになり、高校に入って本格的な
創作活動。昨春にはNHK特別番組
「電腦短歌の世界へようこそ」でも紹
介された。

「ニコン」社長に就任

嶋村 輝郎 さん



「付き合ひ上
手の人情家」
——として知
られる嶋村輝
郎さん(60)

ニコン社長兼COO(最高執行責任
者)に就任した。旭川西高(9期)
卒で、平成9年度から「旭川市経済
大使」に就任、郷土の経済発展にも
尽力している。ニコンは、カメラと
半導体製造装置分野で日本を代表す
る企業の一つ。家族は夫人と一男三
女。庭木の手入れが趣味という温か
い一面も持つ。東北大学理学部物理
学科卒。

世界柔道の覇者

上野

雅恵 さん



2000年
の世界柔道
(ミューンヘン
大会)の女子
70キロ級で金
メダルに輝い
た上野雅恵さ
ん(22)。

アトランタ五輪の金メダリス
トの恵本裕子の出身校、旭川南高
の後輩として話題を呼んだ。ミュー
ン大会の決勝では元世界チャンピ
オンのハウエイ(英国)に勝ち、メ
ダルどころか、世界の頂点に立った。
3年前のバーミンガム大会では3位
決定戦で敗れて5位、シドニー大会
でも実力を十分に発揮できず歩みは
遅かった。しかし、その分試合度胸
は備わって着実に力をつけた。今、
所属する住友海上火災の道場で2年
後のアテネ大会に向け汗を流す。

囲碁十段位

小林

光一 さん



囲碁界の頂
点を極め、一
時代を築きな
がら久しくタ
イトル戦の表
舞台でなりを
潜めていた旭
川市生まれの小林光一さん(48)。

99年5月に「十段位」を奪取、同11月
には第25期天元戦でタイトル防衛、
2000年5月には第13回日中天元
戦で、日本に9年ぶりに勝利をもた
らした。さらに、昨年8月には第26
期碁聖戦五番勝負で山下敬吾碁聖に
挑戦、2期ぶり通算8期目の碁聖位
を奪還、ファンのまなざしも熱い。
故木谷実九段に入門、79年に九段、
77年第2期天元戦で初タイトルなど。
長女は女流棋聖のホープ小林泉美棋
聖。

旭川・橋ものがたり 「秋月橋」編



現在の秋月橋

その土地に住む人々にとって、
合橋は生活に密着し、利用さ
れ、親しまれてきたものは他に類
を見ない。旭橋の上流約5キロの
石狩川に架かる秋月橋もその一つ。
「旭川夏祭り」に石狩川を舞台に繰
り広げられる「イカダ下り」。夏の
風物詩として見逃せないイベン
トの一つとして多くの市民に親しま
れている。

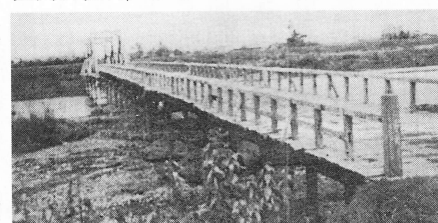
明治生まれの先達の話(総合すると、
通行禁止の時期の方がむしろ長か
たかもしれないという。ここで、そ
の秋月橋の歴史を振り返ってみる。
この橋は、大正3年(1914)
に旧陸軍第七師団工兵隊が演習用と
して、上川郡鷹巣村7号線と上川郡
永山村2丁目先の路線を結ぶ石狩川
に長さ140間(約250m)、幅
2・2間(約4m)の木橋を架けた
のが最初である。当時の工兵隊長秋
月小一郎大佐の名をとって秋月橋と
命名された。

これによって、日の出橋―開運橋
―秋月橋―第七師団へと通じる重要
な路線「新師団道路」が確保され、
また交通上も旭川・東鷹巣村・永山
村・東旭川村を結ぶ大動脈としても
利用されるようになった。

大正9年(1920)の宗谷本線・
新旭川駅の開業に伴い、地域の要望
もあって4年後の大正13年に初代秋
月橋より下流の現位置に架け換えら
れた。一方、秋月橋の流失の記録を
みると、昭和6年(1931)6月
に一部流失、その2か月後に完全流
失した。翌年11月に改築にかかり、
昭和8(1933)年には一部架け換
えしたが、その後また使用困難とな
り、昭和22年(1947)に復旧工
事を行った。しかし、この年の秋に
今度は橋げたが流失、3年後に完全
流失。それ以降使用不能がなんと10
年以上も続いた。

昭和37年に木製の橋に架け換えら
れたが、欄干や敷板の傷みがひどく
住民の陳情請願で昭和49年に現在の
秋月橋が竣工された。この間の事情
を知る人たちの記憶によると、旧秋
月橋時代は「長さ110mを超える

旧秋月橋『旭川の橋』(関根正次著・旭川
振興公社刊)より



木橋の敷板のあちこちに隙間があ
り、そこから下をのぞくと川の急
流が丸見え。身のすくむ思いをし
たものです。秋月橋を渡って高校
に通いましたが、当時は過去に流
失した六基の橋脚がまだ川の中に
残っていた記憶があります」とい
う。

現在の秋月橋の竣工によって、
国道39号線(至網走)と国道40号
線(至稚内)を結び、流通団地・
鉄工団地へも通じる「大動脈」と
して、一日2万3千台(昭和63年)
の交通量を記録するに至った。旭
川市公園委員会によって「秋月橋
付近に大公園を造成する」と発表
されたのは昭和初期のこと。し
かし、計画はなかなか進まなかつ
た。

それが今、石狩川兩岸の河川敷
には一面に群生していた柳の木が
姿を消し、野球場やサッカーコー
ト、テニスコート、20面の大ゲー
トボール場などを備えた大公園が
完成している。もし、当時の関係
者が存命していたら、さぞかし目
を見張ることだろう。

旭・川・だ・よ・り



リニールアルオープン 銀座しあわせ広場

昭和53年に歩行者専用道路として整備され、近郊の人々にも親しまれてきた15丁目・銀座商店街のしあわせ広場が今年6月にリニールアルオープンした。

通りには商店街のシンボルとして愛されてきた弁天様を中心にした仲見世風に変身し、鳥居をイメージした街灯やあずまやなどの配置に加えて、これまでトータル・ポールの形で親しまれてきた七福神の神様たちも装いを新たに宝船に乗って登場した。

市民の台所としての役割を果たす人情味あふれる商店街に新たな特色ある景観が加わり、街のにぎわいづくりに一役かっている。



旭川ぐるっと観光バス 「ファンファン」が運行

旭川市や旭川観光協会などをつくる旭川観光循環バス運営協議会では、今年7月1日から10月8日までの期間、旭山動物園、あさひかわラーメン村などの市内の観光施設を観光客が一日で回れるようにと循環型観光バスを初めて運行した。JR駅前発の3コースがあり、各コースとも45分間隔で一日10便が運行された。運賃は一日券600円でどこから乗ってもどこで降りても自由で、全コース乗り放題とあつて期間中延べで約2万7千人の観光客が利用した。

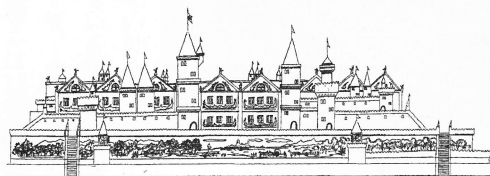


旭川冬まつり 「雪と氷のファンタジー」

今年で43回目を迎える旭川冬まつりが来年2月7日～11日までの日程で、常盤公園と石狩川旭橋河畔を会場に開催される。

「ホワイトアート城」をメイン雪像に、「ロマンチックゲート」や子どもたちに人気のハム太郎のキャラクターを取り入れた「ハムハムすべり台」のサブ雪像の他、大小さまざまな雪像を配置し、市民参加の冬まつりを演出する。

期間中は、
「2000年氷彫刻世界大会」
「あさひかわ雪あかり2002」なども同時開催される。



「2002年全日本スキーマスターズ大会」 「第29回全日本クロスカントリー旭川大会」

来年3月1日～3日の期間、35歳以上の社会人を対象としたスキーマスターズの全国大会が旭川市内で開催される。競技種目はジャイアントスラロームとクロスカントリーの2種目で、それぞれカムイスキーリンクスと富沢クロスカントリー競技場において熱戦が繰り広げられる。またSAJ公認の全日本クロスカントリー

大会が来年1月4日に同じく富沢クロスカントリー競技場で開催される。

「第22回旭川国際バーサススキー大会」 「第4回三国交流会議」

世界のクロスカントリー大会の原点である「バーサスローペツト」の伝統と精神を受け継ぎ、今や日本最大級の大会に成長した「旭川国際バーサススキー大会」が来年3月20日の春分の日に開催される。また同時に、スウェーデン、アメリカからバーサスローペツト役員をはじめとする訪問団を迎え、「第4回三国交流会議」も開催される。これは1990年の第10回大会において「バーサー」の名を冠したクロスカントリースキー大会発祥の地であるスウェーデン・モラー市とアメリカ・モラー市、そして旭川市との間で三大大会が一層の連携を深めることを目指す「三国交流会議共同宣言」に調印したことに由来するもので、旭川市での開催は2回目となる。



旭川商工会議所の 新体制がスタート

11月6日に開催された旭川商工会議所の臨時議員総会において選出された。

会 頭	高丸 修
副会頭	工藤 善美
副会頭	六車 寛
副会頭	湯佐 英司
副会頭	新谷龍一郎
専務理事	柳谷 宏

事務所移転のお知らせ

竹原新会長のもと、事務局が移転します。新事務局長には、小柳武二前総務委員長が就任します。移転先は『ななかまど』の題字下をご覧ください。いままでの桑本さんのように常駐ではありませんので、会員の皆さまには当面ご不便をおかけしますが、ご容赦くださいますようお願いいたします。

編集後記

「若い人を増やして、東京旭川会をもっとよくしよう」という八木前会長の遺志は、竹原新会長が引き継ぐことになりました。また、会の「生き字引」として永い間ご苦勞された桑本平八さんも事務局長を勇退されます。

発足以来25年、会は大きな転換期を迎えています。若手の力が試される節目の時です。(引地)